

小学校第2学年 学級活動学習指導案

1 議題 「もっとなかよくなる会の会をしよう」

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級では、学級会における話合いの進め方について、これまでの経験からほとんどの児童が理解しており、アンケートの結果からは「学級活動が楽しい」と回答した児童が多かった。また4月に比べて、自分の意見を言う前に友達の見解をよく聞いてそれを理解しようとしている児童の様子が見られるようになってきた。しかし、「考えて意見を言うのが苦手」「自信がない」などの理由から、発表することに消極的な児童や、手を挙げても声が小さく意見が伝えきれない児童もいる。そのため、イメージを共有化することに重点を置き、話合いの内容理解を深めるとともに、自分たちで話し合っただけで決めたことが具現化する喜びを味わわせ、話合いのよさに気付くことができるようにし、話合いへの意欲を喚起させたい。

(2) 議題選定の理由

本議題は、2年生になって半年が経ち、遊ぶ友達が固定したグループに限られてきていることから、「せっかく同じクラスになったのだから、クラスの友達みんなのことをもっとよく知って、仲良く過ごせるように『もっとなかよくなる会』がしたい」という児童の提案によるものである。

他に「友達カルタを作りたい」という提案もあった。計画委員会の話合いにおいて、友達カルタは、『もっとなかよくなる会』の中で実施することができるという結論に至った。また、1年間の折り返し地点である今、残りの半年を学級の友達とより楽しく過ごすために、もっとなかよくなることを優先に、今回の議題に選定され、その後全員で決定された。

「友達カルタの他に何をやるか」「どんな工夫ができるか」「どんな役割がいるか」という3点について、互いの意見を尊重し合いながら協力して立案や実践することを通して、学級内の人間関係を深めるとともに、自分たちの力でよりよい学級の生活をつくっていかうとする自治的能力や自主的、実践的な態度を高められるようにしていきたい。

3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
話合いや計画の実践に関心をもち、他の児童と協力して、進んで話合いや活動に取り組もうとしている。	自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて、考え、判断し、仲良く助け合っただけで実践している。	協力して活動をつくりあげること、みんなで学級生活を楽しくすることの大切さについて理解している。

4 活動の流れ

	月日（曜日）	活動の場	活動の主体	活動内容	指導上の留意点
事前	9月28日(金)	業間休み	計画委員会	顔合わせ・役割分担	互いを認め合う分担をする。
	9月28日(金)	昼休み	計画委員会	議題の決定	各提案の扱いを明らかにし、提案者に伝えられるようにする。
	10月1日(月)	ひらめきタイム	学級全員	議題の決定	計画委員会の提案を基に全員で選定理由を共通理解し決定する。
	10月1日(月)	昼休み	計画委員会	活動計画の作成	話合いの方向を考え、気を付けることの柱を考えるよう指導する。
	10月2日(火)	昼休み	計画委員会	学級会ノートの作成 学級会コーナー設置	みんなが理解できる提案理由になるように提案者に助言する。
	10月3日(水)	昼休み	学級全員	オリエンテーション	提案者の考えを共通理解できるようにする。
	10月10日(水)	宿題	学級全員	学級会ノートに考えの記入	決まっていることが共通理解できるように必要に応じて助言する。
	10月12日(金)	業間休み	計画委員会	学級会ノート確認 短冊の記入	見通しをもてるようにする。 意見の統合など、分類しておく。
	10月12日(金)	昼休み	計画委員会	話合いの進め方の確認	各役割の確認しながら行う。
本時	10月15日(月)	5校時	学級全員	学級会	めあてを心がけて全員が発言できるようにする。

※ひらめきタイム・・・毎週月曜日、8：20～35に学級会の準備の事前・事後指導に活用する時間。

5 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「共感と連帯感」）

友達の思いに関心を持ち、学級の仲間として共通の目的を目指して努力しようとする。

6 人権教育上の視点

- (1) 誰の意見でも分け隔てなく受け入れる態度を身に付けている。（価値・態度）
- (2) 仲間と協力して学級をよりよくしようと、諸問題の解決方法を考えたり、話し合ったりするなど、協力して解決に向け取り組んでいる。（技能）

7 本時のねらい

○友達の意見を尊重しながら、みんながもっと仲良くなれるような会の計画を考えることができるようにする。

2年1組 だい7回 学きゅう会 活どうけい画 10月15日(月) 5時間目			
ぎだい	もっとなかよくなるろうの会をしよう		
やくわりぶんたん	し会() () ノート記ろく() 黒ばん記ろく() () ()		
出したわけ	同じクラスになったのに、あまり話していない友だちがいます。2年1組でいられるのは、あと半分しかありません。もっと、友だちのことをよく知って、さい後までなかよくすごしたいから出しました。		
出した人()	友だちのことをよく知ることができる会にしよう。		
話合いのめあて	友だちのことをよく知ることが出来る会にしよう。		
きまっていること	10月26日(金) 5時間目 やることの1つは「友だちカルタ」		
はなしあいのじゅんじょ	気をつけること	じゅんび	時間
1 はじめのことば	大きな声でみんなにやる気がつたわるように言う。 しきの人をよく見て、気持ちを合わせるように歌う。 自分のめあてを大きな声でくわしく言う。 ぎだいをぜんいで声をそろえて言う。 ノート記ろくがきまっていることを大きな声でつたえる。 めあてをぜんいで大きな声で言う。		6分
2 歌			
3 けいかくいんのしょうかい			
4 ぎだいと出したわけのかくにん			
5 きまっていることのかくにん			
6 めあてのかくにん			
7 先生のはなし			
8 はなしあうこと	ゲームのほかにやるものをきめる。 みんなで思っていることをかくにんしながらすすめる。 さんせいが多いものは、きめる前にみんなにかくにんする。 きまらなかったものには、ありがとうカードをはる。		10分
① なにをやるか。			
② どんなくふうをすすめるか。			
③ どんなやくわりがにいるか。	話合い①と②でできたことから、やくわりを考える。 けい画いいんで出せるものは出しておく。		7分
9 きまったことのかくにん	ノート記ろくがきまったことを大きな声でつたえる。		7分
10 ふりかえり・かんそうはっぴょう	自分や友だちのよかったところや、きまったことについてがんばりたいことを書けるようにする。		
11 先生のはなし			
12 おわりのことば	会にむけてやる気になることを言う。		

9 指導上の留意点

◎人権教育上の配慮

話合いの順序	・指導上の留意点 ○目指す児童の姿
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが一つになるよう声を合わせて歌うようにする。 ・その子なりのめあてが言えるように、事前に指導する。 ・提案者の思いを全員で理解できるようにする。 ・確実に共通理解ができるようにする。 ・「友だちのことをよく知る」会となるよう、めあてを意識させる。 ・出した訳、めあてを心がけた話合いをするように助言する。 ・どの意見も大切にしよう見守り助言する。 ・発言できない児童には、個別に声かけを行う。 ◎どの意見も受け入れることができるように、内容を整理して意見の分類を行う。（価値・態度） ○友達の見解をよく聞き、それを生かした発言をしている。（思考・判断・実践）【発言・観察】 ・「出した訳」に沿って意見を出している児童を称賛する。 ◎仲間と協力して学級をよりよくするための活動の工夫を考えるよう、助言する。（技能） ○提案理由をもとに自分の意見を考え発言している。（関心・意欲・態度）【発言・観察】 ・友達の意見のよさや、話合いでの合意形成の様子を肯定的にとらえる内容を書いた児童に感想を發表させる。 ・出した訳を意識した発言ができた児童や友達の意見を取り入れた意見を発言した児童を称賛し、計画委員へのねぎらいの言葉と今後の課題を話す。
2 歌	
3 計画委員の紹介	
4 議題と出した訳の確認	
5 決まっていることの確認	
6 めあての確認	
7 先生の話	
8 話し合うこと	
① なにをやるか	
② どんな工夫をするか	
③ どんな役割がいるか	
9 決まったことの確認	
10 振り返り・感想発表	
11 先生の話	
12 おわりの言葉	

10 事後の活動

	月日（曜日）	活動の場	活動の主体	活動内容	指導上の留意点
事後	10月16日(火) ～18日(木)	昼休み	学級全員	役割ごとに準備	協力したり、工夫したりして活動している児童を称賛する。
	10月26日(金)	5校時	学級全員	もっとなかよくなる ろうの会	提案理由を意識しながら活動できるように助言する。
	10月26日(金)	集会 終了後	学級全員	活動の振り返り	提案理由に基づいて振り返り、互いのよさに気付くことができるよう助言する。